

健康管理システム等標準化検討会 ベンダ分科会（第2回）

議事概要

日時：令和4年10月24日（月）13:30～15:30

場所：WEB会議及び日本コンピューター株式会社りそな新橋ビル6F会議室

【議事次第】

1. 開会
2. 議事
 - (1) 開催要綱について
 - (2) 令和4年度下期スケジュールについて
 - (3) 標準仕様書 1.1 版案の検討
 - (4) その他
3. 閉会

【配布資料】

資料1_開催要綱

資料2_令和4年度検討スケジュール

資料3_検討課題事項の概要・1.1版案の対応概要

資料4_ご依頼事項

別紙_ご意見記入シート

参考資料1_全国照会の継続検討一覧

参考資料2_第3回合同WTの継続検討一覧

別途添付_健康システム標準仕様書【第1.1版】案 一式

○議事概要

（議事（1）について）

事務局から開催要綱について説明が行われた。
新規構成員様よりご挨拶いただいた。

（議事（2）について）

事務局から令和4年度下期スケジュールについて説明が行われた。
意見、質問等なし

（議事（3）について）

事務局から標準仕様書 1.1 版案の検討について説明が行われた。

<質疑応答>

・ とも家庭庁設置に伴う対応について

(母子保健課) 令和6年度の児童福祉法改正にともない、とも家庭センター設置に向けて検討中である。

・ 各種委託料積算機能について

(構成員) 地方自治体や医師会毎に仕様の独自性が高く、現状においてもパラメータでの管理が難しい状況である。標準化範囲外で問題ない。

⇒ (事務局) ベンダの総意としては、事務局案で問題ないということで承知した。

・ DV 加害者情報の連携要件について

(構成員) 特段連携は不要と考える。

(構成員) 利用している自治体はほぼない。ただし、例えばDV加害者が乳幼児健診の日時について問い合わせをして待ち伏せをするといったケースを回避するために情報連携及び管理をしている自治体が存在するため、標準オプションとして残しても良いのではないかと考える。

⇒ (事務局) ご意見を踏まえ検討する。

・ 住登外者情報の利用権限について

(構成員) 所属や事業で分ける必要性はないと考えている。

(構成員) 住登外は住基とは別に宛名管理システムで一元管理すべきではないかと考えている。名寄せした場合の問題や、副本登録における団体内宛名番号の管理等が業務ごとに違うので必要ない。

⇒ (事務局) ご意見を踏まえデジタル庁に申し送るか検討する。

・ 費用助成(償還払い)に関する要件について

(構成員) 事務局が整理している要件のみで問題ない。その他に必要な要件に関しては、委託料積算機能同様に標準化範囲外の整理でよい。

⇒ (事務局) ベンダの総意としては、事務局案で問題ないということで承知した。

・ 出先機関における受付運用について

(構成員) 小規模自治体で行っている事例がある。出先からガバメントクラウドに繋がればよいという意見もあったが、山間部だとネットワークが繋がらないエリアもあり、対応できないため難しい。

(構成員) 現在も一部の自治体で使用しているがセキュリティ面で運用継続に問題があると判断している。弊社では閉域SIM+RDSに運用に変える方針。

(構成員) 以前は持ち出し運用をしていたが、セキュリティ面を考慮して運用を取りやめている。現状は委託機関に受付からの作業を委託しているケースがある。標準仕様に盛り込まなくても良い。

(事務局) 出先機関でのシステム利用について、デジタル庁の方針等あるか。

⇒ (デジタル庁) 指定都市であれば行政区において様々な対応があると聞いている。各業務における検討も大事だが業務横断的な観点から検討した方がよいものがあればデジタル庁で検討するので引き続き議論してほしい。現時点では出先機関での取り扱いを横並び方針で検討する段階ではないと認識している。

⇒ (事務局) 総務省の情報セキュリティポリシーに関するガイドラインでは、無線 LAN は利用しないこと (マイナンバー利用事務) とあるが、今後緩和されるような検討がされるか。

⇒ (デジタル庁) 今後検討するかどうかについてはお答えできないが、今回の標準化を機に取り扱いを検討することはあり得るため、業務の必要性やベストプラクティス、また住民の方の利便性も向上するように考えていただきたい。2025 年度までに標準準拠システムへの移行があるため時間軸のある話ではあるが、議論いただければと思う。

・外国人の氏名優先区分について

(構成員) 第一グループの介護保険・障害者福祉と同様に健康管理システム独自に氏名優先区分を管理する必要はないと判断する。

⇒ (事務局) ご意見を踏まえ、管理しない方向で検討する。

・「機能 ID 0000126 に準じて出力」としている帳票要件について

(構成員) 機能 ID 0000126 において印字内容を自由に設定できることから必須項目を定める必要はない。

⇒ (事務局) ご意見を踏まえ、定義しない方向で検討する。

・養育医療の実装類型について

(事務局) 令和 3 年度に実施した「地方自治体システム実態調査」の結果、システム実装率 10%程度であったため、標準オプション機能としていたが、法的な根拠で決まっていることと、自治体からの意見も多いことから、大部分の要件を実装必須機能に変更した。一方で、標準仕様書全体として実装必須要件が過剰となっていないかという懸念が出ているため、率直な意見を伺いたい。

(構成員) EXCEL 等システム外で管理可能な件数であること、また実装率 10%程度ということから標準オプション機能で良いと考える。

⇒ (事務局) ベンダとしては標準オプション機能で良いという意見と理解した。母子 WT でも引き続き検討する。

・医療費助成について

(構成員) 事務局にて記載いただいている内容で問題ないと考える。

⇒ (事務局) ベンダの総意としては、事務局案で問題ないということで承知した。

- ・ 予防接種 身体障害者手帳の連携要件について
意見、質問等なし

- ・ 他システムとのデータ連携

(構成員) 保育園情報について、すべての情報を連携することは難しいと思う。

(構成員) ある自治体で保育園情報を連携しており、検診に来なかった場合に、保育園に問い合わせを実施する運用をしているが、標準仕様として必要かどうかという課題はある。

⇒ (事務局) ご意見を踏まえ検討する

(厚労省情参室) 以下、2 点を受けて、健康管理の標準仕様書を修正する可能性があるため、留意していただきたい。

- ・ データ要件・連携要件について、デジタル庁にて全国意見照会を実施した結果、一部、健康管理側にフィードバックされている状況。
- ・ デジタル庁を主として共通機能等技術要件検討会が設置されており、検討が実施されている状況。内容によっては標準仕様書に影響が生じる可能性があることに留意。

(構成員) 機能別連携仕様で連携の記載の仕方が、随時からリアルという記載となったが、リアル連携とは、数秒間の間隔での連携でもリアルと考えて良いか。

⇒ (デジタル庁) 明確にはしていないが、窓口受付に来たら次の業務の受付もできることを想定。数秒から数分であればリアルのイメージで良いと思うが何分までがリアルとは決めていない。

⇒ (事務局) 共通機能等技術要件検討会では、連携の種類を (リアル連携かファイルか連携) 業務側で決めてよいと説明されたと認識しているが相違ないか。

⇒ (デジタル庁) 相違ない。業務側で決めることで正しい仕様になると思っている。

⇒ (厚労省情参室) リアル連携について、排他制御が気になっている。業務側で書きしている情報と連携されている情報があり、どう制御をするのか注意が必要。序列をつけて連携される仕組みにしないと秩序が保たれない。

⇒ (事務局) 技術的な要件については、共通機能等技術要件検討会で検討される認識であるため、健康管理の検討会では実運用に即した連携タイミングに関する議論を行う方針としたい。

(事務局) 機能別連携仕様では、すべてリアル連携とされている状態であるため、後日、各ベンダに意見を伺いたい。

- (構成員) 特定健診について、8月の検討会では、国民健康保険標準仕様書 1.1 版に向けて検討されるとのことだったが、進捗を伺いたい。
- ⇒ (厚労省) 8月の検討会での共有内容と同様になるが、保険局で検討中である。今後、標準仕様書を策定する方針だが、具体的なスケジュール等は検討中。
- ⇒ (事務局) 特定健診の標準仕様は健康管理側で定めるものではないが、成人健診の健康検査の管理項目等に影響する。各ベンダにおいて、仕様提示時期の期限や開発スケジュール等への影響はどうか。
- ⇒ (構成員) 可能な限り早くスケジュールを示してほしい。移行期限が 2025 年末のため、開発だけでなく、自治体導入時の職員様の負荷や SE リソースも加味してほしい。

(議事 (4) について)

事務局から構成員へ標準仕様書 1.1 版案等に対するご意見の依頼について説明された。

<質疑応答>

意見、質問等なし

全体をとおして確認事項等

意見、質問等なし

以 上